

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
①計画の名称	高梁市地域住宅等整備計画
②都道府県名	岡山県
③計画作成主体	高梁市
④計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 27 年度
⑤計画の目標	『住宅の居住水準を向上させ、良質な住宅を提供する。』 『地域の高齢化に対応するため、住宅のバリアフリー化を進める。』 『近代的で魅力的な公営住宅を増やすことにより、若者人口の定住を促進する。』 『入居者資格を子育て世帯のみに限定した地域優良賃貸住宅（一般型）を建設し、子育て世帯の定住を促進する。』
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	高梁市において評価を実施（平成 28 年 4 月）
⑦事後評価の結果	<p>指標①：「水洗化住宅の割合」 定 義：高梁市内におけるトイレが水洗化された公営住宅の割合 評価方法：整備実績による 結 果：従前値：76%（平成 23 年度）⇒目標値：83%（平成 27 年度）⇒実績値：80% 結果の分析：公営住宅等ストック総合改善事業により 25 戸を改修した。当初計画より事業費が嵩み、事業進捗が進まなかったため目標値を達成できなかったが、従前から 4%上昇しており、一定の成果はあった。</p> <p>指標②：「バリアフリー化住宅の割合」 定 義：高梁市内におけるバリアフリー化された公営住宅の割合 評価方法：整備実績による 結 果：従前値：40%（平成 23 年度）⇒目標値：48%（平成 27 年度）⇒実績値：45% 結果の分析：公営住宅等ストック総合改善事業により 38 戸を改修した。当初計画より事業費が嵩み、事業進捗が進まなかったため目標値を達成できなかったが、従前から 5%上昇しており、一定の成果はあった。</p> <p>指標③：「地域優良賃貸住宅（一般型）の供給戸数」 定 義：高梁市内において子育て世帯の居住の用に供する居住環境が良好な賃貸住宅の供給戸数 評価方法：整備実績による 結 果：従前値：4 戸（平成 23 年度）⇒目標値：15 戸（平成 27 年度）⇒実績値：11 戸 結果の分析：地域優良賃貸住宅整備事業により 7 戸を建設した。建設候補地選定等に時間を要したため目標値を達成できなかったが、子育て世帯向け住宅の充実により、一定の成果はあった。</p>
⑧結果の公表方法	高梁市のホームページにて公表
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	次期地域住宅計画においても「住環境の向上」に重点を置き、公営住宅ストックの改善を計画的に行うとともに、若者世代の定住支援策の一つとして、子育て世帯向け住宅の充実を図っていく。
⑩その他	なし

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。